

診療内容

口腔顎顔面外科は、口、顎、顔面に発生する疾患の外科的治療（手術）を行っている診療部門です。口腔外科の最後の砦として口腔癌、口腔腫瘍、顎変形症、顎関節疾患、顎顔面外傷の手術を専門的に行っています。

当部門には以下の学会認定指導医が在籍し診療にあたっております。

日本口腔外科学会認定「口腔外科指導医」

日本口腔腫瘍学会認定「口腔がん指導医」

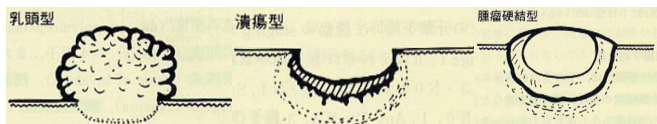
日本顎変形症学会 指導医（口腔外科）

口腔がんとは

口腔がんは主に粘膜にできるがんです。

1. 舌がん
2. 口底がん（舌の下）
3. 歯肉がん
4. 頬粘膜がん
5. 硬口蓋がん（上あご）

<口腔がんの臨床像>

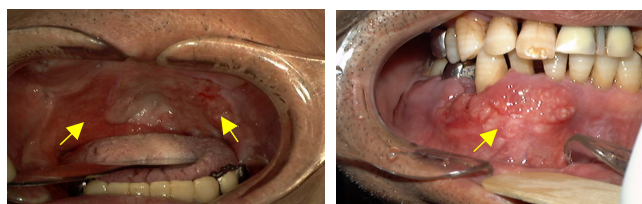


口腔がんは主に粘膜にできるがんです。全がんに対する口腔がんの割合は1~3%程度で、性別では男性に多く、年齢別では60歳代にピークがあります。

口腔がんの治療

- ・手術、放射線療法、抗がん剤を行います。
- ・他部位と同じで、早期発見・早期治療が大切です。

口腔がんの初期症状



口腔がんの初期は次のような症状がよく見られます。

- ・粘膜に白色や赤色のまだら模様がある。
- ・粘膜にしこりがある。
- ・いつまでも治らない傷や口内炎がある。

口腔がんの危険因子

タバコや強いお酒。

→控えめにしましょう。

不衛生な口内状態。虫歯や入れ歯などのあたりがある。

→歯科で治療してもらいましょう。

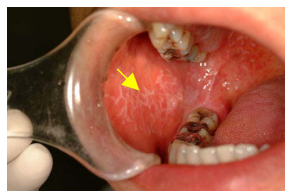
口腔がんと鑑別を要する疾患

口腔白板症



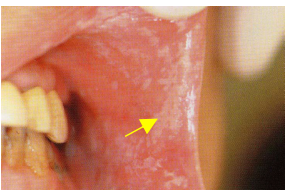
前がん病変の一つ。約10%はがん化するとされている。白い病変でこすっても取れない。通常、痛みは認めない。

口腔扁平苔癬



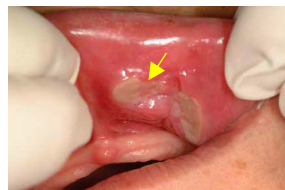
口腔粘膜にみられる慢性炎症性病変。白いレース状の病変で刺激物がしみる。

口腔カンジダ症



カンジダ菌というカビの一種が口腔粘膜に繁殖。口の中の粘膜に白色のこするととれる病変でぴりぴり痛みが生じることもある。

褥瘡（義歯性潰瘍）



適合の悪くなった入れ歯を使用することにより口腔粘膜に潰瘍が生じた状態。入れ歯の調整を行うと治癒する。